

令和元年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録

日 時：令和 2 年 01 月 11 日（土） 16:00～18:00※

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）

出席者：伊藤(11 期・会長)，高辻(東京支部長)，仙田(関西支部長)，酒井(名簿・web 担当)，椿(しゃち担当)，加藤(教員幹事)，池田(1 期)，南川(3 期)，大澤(4 期)，遠山(5 期)，渡辺(6 期)，加藤(7 期)，寺島(8 期)，田中(13 期・会計監査)，向井(15 期)，大東(16 期・代理森川)，織田(17 期)，岩田(18 期)，片山(20 期)，後藤(21 期)，加藤(22 期)，中村(23 期)，中野(24 期)，鈴木(26 期)，石川(31 期)，水野(32 期)，香川(33 期)，田代(35 期・幹事長)，中村(39 期・会計)，伊藤(45 期)，吉川(46 期・会計)，柿元(47 期・しゃち担当)，朝隈(54 期・学生会会長)，加古(55 期)，菱川(55 期・今回まで)，岩井(55 期・次回から)，飯島(4 年幹事) 出席者数 37 名

※今年度は当初，令和元年 10 月 12 日（土）に予定していたところ，当日に襲来した台風 19 号の影響により延期して実施した。

報 告

1. 第 29 回総会報告（資料 R1-2-2）（田代）
 - ・ 昨年に引き続き，名大構内（環境総合館・花ノ木）で総会・懇親会を開催した。参加者は，それぞれ 62 名，61 名であった。
 - ・ 例年より会計の補助は少なく，格安に実施できた。プレ行事として減災館・NUBURIDGE など土木教員が携わっている施設の見学会を開催したところ，12 名の参加があった。
2. 会費納入状況報告（資料 R1-2-3）（中村友）
 - ・ 今年度までの納入状況を踏まえ，6 期生の完納者がプレミアム会員となる予定である。
 - ・ 全体の会費納入率は 43.1%（前年 43.9%）であり，低下傾向に歯止めはかけられていない。ただし，周辺の同窓会に比べると高い水準にあることが補足された。
 - ・ 会費の自動引落が 12-1 月にかけて実施されたが，742 名の対象者のうち 50 名ほどで引落としができなかった。シティバンク日本撤退の影響を受けた方が一定数いる模様。
3. 名簿 No.55 編集経過報告（資料 R1-2-4）（酒井）
 - ・ 12 月に発行された名簿の編集過程において，各期幹事からのデータ提出状況が紹介された。例年に比べて多くの期から協力いただいていた。
 - ・ 今号では，会員から名簿担当への直接連絡が 3 件あった。可能な限り，各期幹事でまとめて報告してほしいとの要請があった。
4. しゃち No.60 編集・発行状況報告（椿）

- ・ 60号記念として「名大土木教室の過去・現在・未来」と題する特集を企画して寄稿いただいた。
- ・ 既存の web 掲載バックナンバーの解像度が低いことから、改訂版の作成に関する検討結果が紹介された。紙媒体しか存在しない古い号の電子化について、自分たちで作成するのが安く済むと思われたが、作業量が多くなることが課題となっているとのことであった。
- ・ (関連して)今年(2020年)は1961年に設立した土木系教室の60周年に当たることが確認された。

5. 後援基金報告(資料 R1-2-5) (三輪 代理:田代)

- ・ 後援基金使用ルールの確認があり、令和元(平成31)年度上半期の会計報告がなされた。

6. 支部活動報告(資料 R1-2-6~7)

1) 東京支部(資料 R1-2-6) (高辻)

- ・ 東京支部の執行部は、近年、大手ゼネコン各社による輪番制で対応してきた。今年度は例年より遅れ、6月中旬より清水建設が引継いで担当している旨、紹介があった。
- ・ 所属する卒業生数の多い会社呼びかけ、担当会社を増やす働きかけを行ってきたところ、次年度は JFE グループ(JFE エンジニアリング)が担当することとなり、次期支部会長は森浩章氏(26期)が務めることになった旨、報告された。
- ・ 11月15日(金)の支部総会は、伊藤名誉教授(11期・会長)、中村友昭准教授(39期・会計)、田代特任教授(35期・幹事長)が出席し、参加91名の参加者を集めて、四谷主婦会館にて開催された。10期までと35期以降の出席者が少なかった。次年度は、11月13日(金)に実施される。

2) 関西支部(資料 R1-2-7) (仙田)

- ・ 令和元(平成31)年度前半期、後半期の活動が報告された。毎年度、6月関西支部バリバリ会(若手懇親会)、9月関西支部大会、11月関西銀シャチ会を実施してきたが、バリバリ会の土曜開催を試行したところ、参加者が集まらず実施できなかった。
- ・ 9月27日(金)に実施した関西支部大会は、教室からの伊藤名誉教授(11期・会長)、田代特任教授(35期・幹事長)を含む18名の参加者を集めた。田代特任教授からのミニ講演「伊勢湾台風から60年」もあって盛況であった。

7. 教室近況報告(資料 R1-2-8) (加藤準)

- ・ 役員会初出席となった加藤教授の自己紹介があった。
- ・ 教室全体に大きな変動はないが、環境学研究科都市環境学専攻持続発展学系物質環境構造学講座に所属する奥岡助教(44期幹事)が岐阜大学に栄転された旨、紹介があった。
- ・ 平成30年度より工学研究科長を務める水谷法美教授(19期)が再選され、令和3年度まで務められる旨、報告があった。
- ・ 令和2(2020)年度に教室設立60周年を迎えることから、記念事業の構想・企画に関する質疑が行われ、記念誌の作成・販売を想定している旨、紹介された。なお、この収益

は、前記した教室後援基金に補充されることが見込まれる。

8. 学生会活動報告（資料 R1-2-9）（朝隈）
- ・ 令和元年度の活動として、名大祭土木展（6月15日（土））、ソフトボール大会（9月28日（土））、土木系懇親会（10月29日（火））が実施された。土木展では、コンクリート人形作りやアーチ模型が好評で、アンケート結果も良好であったことが紹介された。良い展示なので、告知をもっとしてはどうかという意見があった。
 - ・ 上半期の会計報告があり、3月25日（水）の卒業式後に開催予定の卒業記念パーティーに関して、例年参加費が高額になることから参加しない人がいるため、今期の予算残額から参加費補助を出すことを検討している旨、紹介があった（新型コロナウイルス対応のため、卒業記念パーティーは中止となった。2月29日追記.）。
9. 留学生関連活動報告（資料 R1-2-10）（趙・代理田代）
- ・ 平成30年度発刊の「しゃち」59号から記事を抜粋・英訳して構成した Alumni Newsletter Issue No.8 について、5月に約300名の卒業生・在学生にメール配信した旨、使用経費とともに紹介があった。なお、この費用は基金を利用している旨、補足があり、併せて基金の会計報告への反映は次年度となる旨、紹介があった。
 - ・ Tea Chat Party の開催報告。教員と学生の交流として定着しつつある行事となっている。
 - ・ Tea Chat Party（6月19日（金）、12月13日（金））、Farewell Party（9月27日（金））の活動・会計報告があり、それぞれ54名/41名（学生42名/27名）、135名（学生101名）と多数の参加者を集め、盛況であった旨、紹介があった。なお、秋季入学生向けの Tea Chat Party の前に、NUGELP（Nagoya University Global Environmental Leaders Program）創設10周年の記念シンポジウムが開催された。
10. 女子の会活動報告（資料 R1-2-11）（井料・代理田代）
- ・ 愛知県「女性の活躍理系女子応援事業」の一環として実施された「女子中高生のための理系大学&リアルなオシゴト潜入取材バスツアー」について、名古屋大学男女共同参画センター、NEXCO 中日本 E-MAC 技術研修センターと連携し、「土木×女子 安心を支えるインフラの秘密」なるテーマの1コースを土木女子の会（井料准教授・田代特任講師（36期））として担当した旨、紹介があった。学内では、環境土木・建築学科環境土木工学プログラムの研究紹介に続いて、減災館・N²U-BRIDGE を見学した。
 - ・ 例年、数回の会合を開催してきたが、今後も継続する方針である旨、紹介があり、継続しての支援について依頼があった。次年度より、担当が尾花助教に変更となる。
11. 卒業生による講演会・懇親会報告（資料 R1-2-12）（中村友）
- ・ 隔年開催にて今年度で3回目となる卒業生による講演会・懇親会について、金声漢氏（21期・エイト日本技術開発）、多田隆司氏（22期・関西電力）、河村賢二氏（内閣官房国土強靱化推進室）、青木俊彦氏（大成建設）が登壇し、92名（うち学生77名）の参加者を得て開催した旨、紹介があった。本行事は学部2年生以上の全学生が対象であ

り、後記する「土木事業に関する談話会」と異なる趣旨で企画・実施していることが補足された。

12. 土木事業談話会・就職面接マナーセミナーの実施報告（資料 R1-2-13）（田代）

- ・ 12月7日（土）に実施した土木事業に関する談話会（30名出席）、1月9日（木）に実施した就職面接マナーセミナー（26名出席）について報告があった。
- ・ 近年、両行事ともに出席者数が減少傾向にあるが、参加者からは有意義だったとの声を聞いた。参加者減の理由は、インターン時期が早く、また、企業が協定にとらわれていないために、学生が既に就職関連の情報を得ているということが挙げられる。今後は開催時期を早めるなどの対応を検討していく旨、補足があった。

13. その他

- ・ 11月16日（土）、福本先生の米寿を祝うシンポジウム・祝賀会が京都大学にて開催され、盛況であった旨、伊藤会長（11期）より紹介があった（しゃち No.61 への報告記事は既に提出済み）。

議 事

1. 役員・幹事の変更（資料 R1-2-0）（田代）

- ・ 奥岡助教（44期・名簿担当）の転出に伴い、しゃち担当の柿元助教（47期）が名簿担当に配置換え、併せて、新たに、干場大也助教がしゃち担当を務めることとなった。
- ・ 女子の会担当は、井料准教授から尾花助教へ交代することとなった。尾花助教は再任。
- ・ 10期幹事は吉田敏和様から石川美直様に、55期幹事（工）は、菱川貴之君から岩井周平君に交代することとなった。
- ・ 過去2カ年にわたり、役員会に来られてない幹事には交代を含めた対応をお願いすることとしており、今回該当する方々についての状況が紹介された。

2. 議事録（案）の確認（資料 R1-2-1）（田代）

- ・ 令和元年度第1回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。

3. 次期三役について（資料 R1-2-14+回覧）（伊藤）

- ・ 次期会長推薦委員会から候補者を募集したところ、それぞれ異なる候補者に対する2通の推薦書が提出された。これを受けた委員会での審議結果として、三輪友夫氏（16期、名古屋城振興協会理事長・前名古屋市長）を会長候補者とする案が示され、審議の結果、これが承認された。次年度総会での承認を踏まえ、就任する運びとなる。
- ・ 次期幹事長は中井健太郎氏（36期）、副幹事長は判治剛氏（37期）が務める旨、報告された。

4. 工学特定基金への寄付について（資料 R1-2-15+別紙）（田代）

- ・ 別紙資料をもとに、これまでも会員に周知および寄附をお願いしてきた、名古屋大学工学部・工学研究科支援基金（NUDF-e、工学特定基金と後記）について紹介があり、現在の高額寄附者の一覧が紹介された。なお、寄附総額 20 万円以上の支援者については、ES 総合館 1 階の銘板に掲示されることになる。
- ・ これまで、鏡ヶ池会としては名古屋大学基金に 20 万円を寄附しており、豊田講堂の銘板には掲示されているが（平成 21（2009）年 10 月）、その後、支援目的を特定可能な特定基金制度が設立されており、工学特定基金を使って工学研究科（現研究科長：水谷法美教授（19 期））に対する直接的な支援が可能な状況（80%は部局で使用可能）にある旨、補足があった。
- ・ 現在の本会会計状況から 20 万円の寄附については無理がないこと、卒業生で、かつ、土木系教室の現役教授である水谷法美氏（19 期）が研究科長を務めていること、などを総合的に勘案し、鏡ヶ池会として、新たに工学特定基金に対し 20 万円の寄附を行う方針について提案があった。審議の結果、特別な反対意見は無く承認された。
- ・ 伊藤会長（11 期、全学同窓会副会長を兼務）より、工学部・工学研究科内の学科単位同窓会相互の繋がりが希薄になっており、工学部・工学研究科同窓会としては機能していない現状が報告された。

5. その他

- ・ 次回役員会については、以下の日程・場所で開催することとなった。
4 月 24 日（金）17:30～19:00、工学研究科 8 号館 206・210 号室（土木工学専攻会議室）
※ただし、翌 25 日（土）16:00～17:30 を予備日とする。
- ・ 次年度総会については、次期三役の予定を勘案しながら学外での実施を念頭に調整することとなった。なお、現執行部の予定では、6 月 19 日（金）、7 月 3 日（金）などが候補に挙げられる。
- ・ 会費の納入方法について、特に、振込用紙を通じた方法について質疑があった。会計担当から、例年 1 月前半頃に郵送されてくる振込用紙を活用して欲しい旨、依頼があった。
- ・ 本役員会に引き続き、意見交換会がグランピアット山手通店で行われた。

以上